令和3年6月9日

ZOOM 会議

その中の特に注目のトピックスを紹介する 理事会は、 ついて協議しています 年8回開催されており、 協会の運営、 活動に

ブリッド参加型バーチャル方式」で行われた。 プに分かれて、意見、情報交換が行われた。 よう」をテーマに座談会が行われた。 第 いずれも次号の会報誌に議事録が掲載されるの また社員総会後に「コロナ禍の影響を共有 1~5号議案まで承認された。コロナ禍であ 令 詳細は議事録にて確認を。 オンラインでの質疑応答に対応した「ハイ 和3年5月2日に社員総会が開催され、 4グル

視野に入れた視点を持って活動するなどの所信 クの社会貢献度を上げること、「声なき会員」も 今までに積み上げられた活動を引き続き継続 が副会長にそれぞれ就任した。加藤監事からは 表明がなされた ていくことを基本として、医療ソーシャルワー 田副会長に代わり、 良子氏(日本福祉大学非常勤講師)が監事に、 新理事体制として、浅野監事に代わり、 竹内里夏氏(中部労災病院 加 野 藤

ソーシャルワーカーデー 201

る。 止となっていた。今年は初のオンライン開催となり、 に開催される。昨年は緊急事態宣言中のため コロナ禍に関する話題提供、 ソーシャルワーカーデーが 7月 11日に 1 詳細はチラシ参照 実践報告が予定されてい 開催中 年ぶり

告がある予定 クライエントの生活への影響調査報告書」を中心に報 ・ルス感染症による医療ソーシャルワーク業務及び 本会からは、 水野副会長が登壇し、「新型コロナウ



70 周 年記念誌を発刊

れますので、今しばらくお待ちを て発刊準備中である。記念誌に相応しい内容となって いるので、ご期待頂きたい。 いるが、 例年、 研究誌 今年は協会設立70周年を迎え、 「医療ソーシャルワーク」を発刊して 8月末会報便に同封さ 記念誌とし

綱紀委員会・査読委員会の

設置準備へ

る。 も相談、 置されることで、会員個人の諸問題に 定の改定の検討中である。 現在、 の設置に向けて、 前から検討されていた 対応が可能となる。 委員会規定の作成、 準備が進んで 委員会が設 「綱紀委員 本会規

委員会規定の作成中である。 て設置を検討している。こちらも現在 研究誌への投稿論文の査読を目的とし また「査読委員会」 は、 学会発表や

れた規定と共に案内する予定である。 しし ずれも正式な設置時には、 改定さ



वुं 。 号(8月末発行予 詳細はそちらをご 定)に掲載され 第 録は、 1 回理事会の 会報誌 26

情報部

覧下さい